



謹んで新年のお喜びを申し上げます



本年もどうぞよろしく

お願いいたします

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会

会長 行森 良一

令和2年を迎え新年のご挨拶申し上げます。

令和になって初のお正月、雪も少なく穏やか

な年始となりました。会員並びに賛助会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことをお喜び申し上げます。

昨年は温暖化の影響で台風の被害が数多く発生し、大規模停電や河川の氾濫による浸水被害など大変な状況でした。改めて自然災害の怖さを認識させられました。幸いにも当会の関係者で被害に遭われた方は1名と少なかったのですが、被害に遭われた方々におかれましては、1日も早い復興をお祈りいたします。今年は、穏やかで平和な年となるよう願っております。

今年は東京オリンピック、パラリンピック開催の年でもあります。海外からもいろいろな面で注目される年となります。また技師会関連では、日臨技の第69回日本医学検査学会が4月に仙台で開催されます。東北での開催は今後ないかも知れませんが、是非ともみなさんと盛り上げていきたいと思っております。そして10月には、日臨技第9回北日本支部医学検査学会が10月17・18

(い わ て)

日(土・日)に盛岡(アイーナ)で開催をいたします。テーマは『融和と協調』としました。臨床検査技師がすべきことは、患者に対し正確で最大限の検査データを提供することが使命です。

また医療人の一員として患者の利益になるよう努めることは当然ですが、多職種連携医療についても重要な事柄だと思っています。そこで、今回の学会では技師間の交流連携はもとより、多職種連携医療についても考えていきたいと思い、このテーマとしました。サブテーマは、～じえねしす(発端)、じえねなる(幅広い知識)、じえねれーしょん(世代)～それぞれの世代の強みを活かした検査室の運営や、学会・研修会等への積極的な参加による幅広い知識を持ち、その知識と経験を基に何かを始める発端となる。そんな技師を目指そう…、という思いを込めております。

2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、要介護、認知症高齢者が急速に増加すると推定されています。政府は2025年度問題として、持続可能な社会保障制度とするために医療提供体制の見直しをすでに開始しています。「病院完結型医療」から患者を地域で連携して支える「地域完結型医療」へと大きな転換が進められて、急性期病床を縮小し、回復期・慢性期病床を増やし、更に在宅医療を充実する方向で国は医療・介護の改革を進めています。私たち臨床検査技師もこのような時代背景をしっかりと捉えて、それに担う医療人の一員としてこれから進んで行かなければならないと思います。医師の働き方改革の為のタスクシフティングやシュアリングに関する制度・政策実現など～臨床検査技師の価値～について考えていかなければならないと思います。

結びとなりますが、本年も役員一同全力で会務にあたりますので、会員、並びに賛助会員の皆様何卒ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。今年が皆様にとりまして有意義な年でありますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



研修会参加報告

2019年度第2回北部地区技師会研修会参加報告

岩手県立軽米病院 山崎 勝登志

2019年12月14日(土)岩手県立二戸病院小会議室で開催された北部地区研修会に参加させていただきました。内容は『認知症サポーター養成講座』と題して公益社団法人・認知症の人と家族の会岩手県支部の蛇石陽先生に盛岡から雪が降るなかはるばるおいでいただき講義していただきました。先生は元看護の職に就かれ、定年退職後の現在はケアマネさんをしているとのことでした。いろいろな現場を見てきていらっしゃるようでした。今回の研修会の目的は認知症について『深く詳しく



知る』ことではなく、『認知症とはこのようなものなのでこのように対処すればいいですよ』くらいのもので、という説明に、認知症について深く理解できていない自分にとって気を張らずに参加できた研修会でありました。研修会前に研修会案内のポスターを壁に貼る作業をしていた時中年のご夫婦が通りかかり、夫：「は～、認知症についての勉強会があるんだねえ。14日。あっ今日かあ。」妻：「年取るとこういうのに興味がねえ。ふふふ。」と行って去っていかれました。ふ～んそうなのねえとひとごとのように思って「そうなんですかあ。ははは。」と言葉を返していた自分がいました。自分は「物忘れは激しいけど、まだそこまではね。」と思っているのですが、たぶん明日は我が身なのでしょうね。認知症にはいろいろなタイプがありますが、認知症の患者様のなかでは自分(患者様)が思っていることはそのかたにとって『絶対』であり、お芝居をして理解してあげればよいということでした。演技力が試されるかんじですね。認知症のDVDを拝見したのですが、その中でおじいさんの財布に尋常じゃないくらいの小銭がいっぱい入っていました。これも認知症の症状で小銭を使わず使いやすいお札で支払ってしまうのだそうです。現在のスーパーではそういうお客様の対応についても研修に取り入れているそうです。また小学校でも認知症らしき人を見たときは声をかけて助けてあげるようにと学んでいるそうです。認知症は、ご本人はもとよりご家族のケアも大事であるので自分だけで悩まずつどいに参加したり電話相談などを多いに活用してくださいとのことでした。研修会最後に認知症予防のしりとりゲームをみんな



なでしましたが、自分が答える順番になった時なかなか言葉が思い浮かばずあせってしまいました。(でも、先生のヒントのおかげで大丈夫でした)認知症だと最初に気づくのは『自分』だそうです。ものごとを思い出せないときはすぐにネット検索に頼らず思い出すまでがんばってみてはどうでしょうか。今回の研修会で学んだことをなんちゃって認知症サポーターでもよいので日頃の生活や業務に活かせるようにしていきたいと思いました。



今回の『つなぐ』は岩手県立中央病院の千葉竣太さんです

“つなぐ”

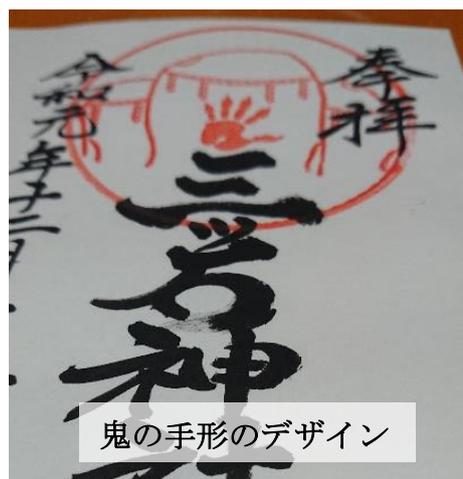
岩手医科大学附属病院の松村啓汰君から「つなぐ」を引き継ぎました、岩手県立中央病院の千葉竣太です。松村君とは大学の同期で、久しぶりに連絡が来たと思ったらこの「つなぐ」の依頼で、断るに断れず今に至ります。山に登ったりしてるというのを風の噂で聞いたので、ぜひ今度一緒に行きましょう。

まず、簡単に自己紹介します。名前の漢字をよく間違われますが「俊」でも「峻」でもなく「竣」です。出身は矢巾町です。実家は九月に移転のあった岩手医科大学附属病院まで歩いて5分くらいの場所です。僕が矢巾に住んでいた頃と比べると駅前なんかはだいぶ



様変わりしていて、帰るたびにびっくりします。趣味はスキーです。これを言うと、だいたい「じゃあ夏はなにやってるの？」と聞かれて苦笑いするしかないみたいなことが多かったので社会人になってからとりあえず登山を始めました。そろそろ胸をはって「登山も趣味です！」と言えるかなという感じでしょうか。そして最近またひとつ趣味ができつつあるので、それについて今回は書こうかなと思います。

その趣味というのが「御朱印集め」です。父親の還暦祝いを兼ねて家族で三重県伊勢市にある伊勢神宮に行ってきたのがきっかけです。世間で御朱印集めがブームになっているのはもちろん知っていたし、父親がちょっと前から御朱印帳を買って集めだしているのも知っていたのですが、自分は全く興味ありませんでした。なので父親が「還暦だし、令和元年だし、伊勢神宮に行ったら御朱印をもらいたい！」というので、しょうがなく付き合っただけかということで行って来ました。そもそも伊勢神宮と聞いても、江戸時代に人々が「一生に一度はお伊勢参り」と願った由緒ある場所だよねくらいの知識しかなかったのですが、実際に行ってみるとうまく言葉で表現できませんが、なるほどやっぱりすごいなという感じでした。自分の語彙力と文章力のなさを恨みます。そして全く興味のなかった僕も気付けば伊勢神宮限定の御朱印帳を買って御朱印をもらっていました。周辺の神社や名古屋に足を伸ばして熱田神宮などにも行ってきましたが、いろいろと御朱印をもらってみるとこの神社はどういう歴史があるのか、なにをご神体に行っているのかみたいなことに興味湧いてきます。旅行の楽しみが一つ増えたような感覚です。御朱印集めの人気が高まっているのも頷けます。岩手に帰ってきてからもいくつか御朱印をもらいに行きましたが、最近のお気に入り「岩手」の名前の由来になったことで有名な三ツ石神社の御朱印です。岩手県民なら是非とももらっておきたい御朱印です。



次回は県立病院の同期で、爽やかな笑顔がトレードマーク（だと思っている）の岩手県立久慈病院、工藤翔矢君につなぎたいと思います。よろしく！

お知らせ

各種手続きについて（会員継続・移動・退会）

会員継続の皆様へ

令和2年度会費の口座振替について

口座振替でお支払いされている会員様

令和2年2月27日（木）にご登録の口座から年会費 10,000 円及び所属の都道府県技師会費（岩手県臨床衛生技師会会費 7,000 円）の合算された額が自動振替されます。

登録口座変更をご希望で提出された「口座振替依頼書」が令和2年1月10日以降に到着した場合は、現在ご登録されている口座からの振替となります。口座の変更は翌年度となります。

口座振替未登録の会員様

令和2年2月中旬に払込票（コンビニおよび郵便局でお支払）を登録されているご自宅住所に送付します。（年会費 10,000 円及び入会都道府県会費の合算された額に加え、払込票発行手数料 275 円（消費税込）を加算してご請求いたします）

※すでに口座振替に登録手続きが完了（令和2年1月10日までに「口座振替依頼書」を当会事務局必着）された場合、払込票発行手数料 275 円（消費税込）は発生しません。

※令和2年3月31日までに会費のお支払いをお願いします。入金の確認が取れない場合、4月初旬に書面にて督促いたします。一定期間が経過しますと自動退会となりますので、ご注意ください。

移動について

転居されている場合は、必ずご住所の変更を1月31日までにお願いします。ご住所の変更方法は、日臨技ホームページ「会員情報の変更」の「会員異動の手続き」をご確認ください。

令和元年度で退会される方へ

退会手続きを1月31日までに行った場合（手書きの「退会届」を使用し郵送の場合は1月31日必着）：令和2年2月27日の令和2年度会費の口座振替は停止されます。

退会手続きを2月1日以降に行った場合（手書きの「退会届」を使用し郵送の場合は3月31日必着）：令和2年2月27日（振替えられない場合は3月27日に再振替）に令和2年度会費が口座振替されます。その場合は、返金対象となりますので返金手続きを行ってください。※返金手続き方法の詳細は日臨技ホームページの令和2年度会費についてをご覧ください。

(い わ て)

研修会等のご案内

【令和元年度第71回盛岡地区技師会研修会及び第2回生理機能検査部門研修会】

内容：第一部「日当直者のための心電図」 14:00～15:30

～緊急度の高い心電図症例について～

日本光電カスタマサービス事業本部 里見 亮司 先生



第二部「身体ぽかぽかピラティス」 16:00～17:30

Studio -Roots- Morioka 渋谷 奈央 先生

*着替えをお持ちいただくか、動きやすい恰好でお越しください

日時：令和2年2月8日(土)13:30より受付

会場：岩手県予防医学協会 Big Waffle 1階大会議室

盛岡市北飯岡 4-8-50 TEL019(638)7185

参加費：会員無料、非会員 5,000 円

日臨技生涯教育点数：専門教科 20 点



【令和元年度 第2回中部地区技師会研修会】

内容：『下肢動静脈エコーの基本』

講師・・・株式会社フィリップス・ジャパン

日時：令和2年2月15日(日)13:00より受付 13:30～15:00

会場：岩手県立中部病院 大会議室

参加費：会員無料、非会員 5,000 円

日臨技生涯教育点数：専門教科 20 点



(い わ て)

【日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会 第15回東北セミナー】

内容：第Ⅰ部 【研究発表】

第Ⅱ部 【講演】

「後腹膜ってどのように診てますか？」 レクチャー&ライブ

講師：石田 啓介（仙台厚生病院 臨床検査センター）

第Ⅲ部 【講演】

「Shear wave Elastography 技術解説」

講師：谷川 俊一郎（GEヘルスケア・ジャパン株式会社 超音波製品開発部）

第Ⅳ部 【特別講演】

「肝硬度、脂肪化推定の実際と健診への応用」 レクチャー&ライブ

講師：黒田 英克（岩手医科大学 医学部内科学講座 消化器内科肝臓分野）

次期東北地方会について

日時：令和2年2月29日(土)13:30より受付～18:05

会場：仙台市立病院 3階講堂

宮城県仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

参加費：2,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科20点

超音波検査士資格更新：5単位



日臨技主催研修会

【輸血テクニカルセミナー2019】

内容：『予期せぬ反応に対応できる技師の育成』

日時：令和2年3月21日(土)13:00～17:00、3月22日(日) 8:30～16:00

会場：東邦大学医学部大森キャンパス

定員：① 講義+実技 80名 ② 講義のみ 40名

(募集定員を超えた場合は抽選とし、1施設1名の参加とさせていただきます)

参加対象：日本輸血・細胞治療学会会員または日本臨床衛生検査技師会会員

受講料：① 講義+実技 20,000円 ② 講義のみ 5,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科20点



(い わ て)

【令和元年度 職能拡大推進事業 PSG 研修会 (第3回)】

内容：『睡眠ポリグラフ検査 (PSG) 判定の更なる応用と臨床事例を考える』

日時：令和2年3月1日(日)9:00より受付～ 16:00

会場：一般社団法人日本臨床検査技師会館 3階第一会議室
〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

定員：60名

参加資格：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員

受講料：3,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科 20点



【令和元年度 職能拡大推進事業糖尿病療養指導士を目指す人のための育成研修会】

内容：『糖尿病療養指導における臨床検査技師の活躍のために』

活動の中で臨床検査技師がどのような役割を担い、求められているかを中心に
これからこの資格を目指している技師への基礎教育

日時：令和2年3月22日(日)9:00より受付～ 16:00

会場：一般社団法人日本臨床検査技師会館 3階第一会議室
〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

定員：60名

参加資格：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員

受講料：3,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科 20点



(い わ て)

【令和二年度 耳鼻科領域検査啓発推進講習会 (第2回)】

内容：『耳鼻科領域検査における基礎知識 ー他覚的聴力検査と行動観察による聴力検査ー』

日時：令和2年5月23日(日)9:00より受付～16:00

会場：一般社団法人日本臨床検査技師会館 3階第一会議室
〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

定員：60名

参加資格：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員

受講料：3,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科20点



第69回 日本医学検査学会

テーマ『**Jump to the Next Decade**

～臨床検査の新たな道を切り拓く～』

日時：令和2年4月25日(日)・26日(土)

会場：仙台国際センター・川内荻ホール・東北大学川内キャンパス講義棟B棟

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

担当：一般社団法人 福島県臨床検査技師会



*各研修会・学会の詳細はHP等でご確認ください

令和元年度岩臨技精度管理調査報告会開催のお知らせ

令和元年度(第25回)岩臨技精度管理調査報告会・総合管理部門研修会

日時:令和2年2月29日(土)午後1時30分より午後5時30分まで

会場:リリオ 3F イベントホール

精度管理調査報告(13:40~16:00)

- 1) 臨床化学 : 生化学 27 項目、HbA1c
- 2) 免疫血清 : HBs 抗原、HCV 抗体
- 3) 微生物 : フォトサーベイ、薬剤感受性試験、同定試験
- 4) 血液検査 : 血算、フォトサーベイ
- 5) 一般検査 : フォトサーベイ
- 6) 輸血検査 : 血液型、抗体スクリーニング、フォトサーベイ
- 7) 病理検査 : ギムザ染色(ピロリ菌の証明)
- 8) 生理検査 : フォトサーベイ

総合管理部門研修会(16:00~17:30)

「医療法改正に伴う現場の対応(仮)」

座長:小野寺 奈緒 (総合管理部門 部門長)

講師:小塚 利恵 先生(東北医科薬科大学附属病院)

～編集後記～

クリスマスも終わり、年越しも終わり

はやくも令和2年になりました。皆様

にとって良い年でありますように。

会報「いわて」第329号 2020.1

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人:

会 長 : 行森 良一

事 務 局 : 下川 波歩

編集責任者 : 村上 美月

山崎 勝登志

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)613-6111 内線 3699 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス:

kaiho@iwateamt.or.jp

(い わ て)

いやはやオリンピックイヤーです。

100メートル走は実際目で見ると

どんだけ速いのでしょうか。ってゆうか

タイムを計測する機械作っているひとも

どんだけすごいのでしょうか。

皆さんはどの競技にわくわくして

いらっしゃいますか。スケボー？